

内村が世界王者

体操男子個人総合

長崎新聞

県産紙宣言。
12 
おかげさまで 創刊120周年

発行所
長崎新聞社
〒852-8601
長崎市茂里町3-1


電子号外



日本史上、最年少



表彰式で笑顔を見せる(左から)2位のキーティングス(英国)、優勝した内村航平、3位のリャザノフ(ロシア)＝ロンドン(共同)



【男子個人総合決勝】優勝した内村航平のあん馬
＝ロンドン(共同)

体操の世界選手権第3日は15日、2012年ロンドン五輪会場となるO2(オーツィー)アリーナで男子個人総合決勝を行った。北京五輪銀メダリストの内村航平(諫早市出身、日体大)が91・500点で初出場、優勝した。2位のダニエル・キーティングス(英国)とは2・575点の大差。日本選手の世界選手権の金メダルは05年の富田

洋之以来4年ぶり、20歳の個人総合王者は五輪、世界選手権を通じ、日本勢で史上最年少となった。田中和仁(徳洲会)は最初のおん馬の落下が響き、88・300点の4位でわずか0・100点差でメダルを逃した。予選を首位で通過した内村は、2種目のおん馬で首位に浮上。5種目の平行棒でミスが出たが床運動、つり輪、跳馬、鉄棒の4種目で最高点をだし、後続との差を広げた。(ロンドン共同)

詳しくは
17日付の
長崎新聞で

購読申し込み

0120-374673

HP 龍～なが

www.nagasaki-np.co.jp